

令和4年5月19日

第33回 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会（書面開催）」結果概要

- 期 間 令和4年3月22日（火）～4月15日（金）
- 形 式 書 面
- 内 容 1 議 題
- ・ LRTの整備効果の評価について・・・資料1
- 2 その他（情報提供）
- ・ 公共交通利用促進運動「ムーブ MOVE ネクスト NEXT うつつの UTSUNOMIYA」
について・・・資料2
- 結 果 各委員，了承

【意見及び回答】

【森本委員長】

- ・ LRT整備効果の評価について，提案されている内容に賛同いたします。
なお，LRT導入は宇都宮市が掲げるネットワーク型コンパクトシティを実現する政策の一部なので，都市全体の評価と連携して継続的に進めることが重要だと思います。

【事務局】

- ・ LRTの整備効果の評価については，各関係部局と連携を図りながら定性的・定量的評価の検討に取り組んでいるところであり，本市が進めるスーパースマートシティやネットワーク型コンパクトシティ等の様々な取組の中で設定する評価指標等とも連携していく。

【岸井委員】

- ・ アンケート調査によって判断するしかない項目も多いが，回答者の属性をどこまで取ることが必要か，今後，調査票設計の検討を深めていただきたい。

【事務局】

- ・ アンケート調査については，今後，有識者等からご意見をいただきながら回答者の属性の取得範囲などについて詳細な設計作業を進めていく。
- ・ また，アンケート調査の実施方法(案)をとりまとめた時点で改めて検討委員会においてご議論いただきたいと考えている。

【望月委員】

- ・ 社会全体を対象とした評価項目のうち、住民生活Aの質問項目①～⑤については、⑥以降と同様L R T利用者を対象に聞く項目として追加すべき。(沿線住民のうちL R T利用者は一部にとどまるため、上記質問に対して十分に評価できる回答が出て来ないことを懸念するため)

【事務局】

- ・ 「住民生活A」の①から⑤の効果項目についても「L R T利用者」の効果項目に追加していく。

【望月委員】

- ・ L R T利用者を対象とした質問は、利用目的とどのように関連して聞くのか？
例えば通学や通勤、買い物の満足度を聞くが利用した目的ごとに該当する質問に答えるのか？いろいろな目的で利用している人は、質問をされた時の利用目的で回答するのか？
開業後、利用実態と満足度を分析評価する必要があるが、しっかり分析できるように設問を具体的に作成し、設問内容の追加変更にフィードバックするような進め方をすべき。

【事務局】

- ・ アンケート調査については、今後、有識者等からご意見をいただきながら、年齢や利用目的などの属性の条件を設定し、効果を適切に評価するための分析方法について詳細な設計作業を進めていく。
- ・ また、アンケート調査の実施方法(案)をとりまとめた時点で改めて検討委員会においてご議論いただきたいと考えている。

【大森委員】

- ・ 開業前に、市民および沿線企業に対して、L R Tを利用することで、整備効果の評価項目に示されるような新しい生活や働き方が可能となり、市民や企業にとってもこのようなメリットがあるということを、具体的に示すことは非常に重要であると考えているため、是非、公共交通利用促進運動を積極的に進めて欲しいです。

【事務局】

- ・ 本市としても、ご意見いただいたような内容を具体的に示すことは重要であると考えているため、市内全世帯に配布するパンフレットなど様々な媒体を活用して周知するとともに、電動キックボードの実証実験や公共交通を活用したエコ通勤の促進企画など、市民や企業等に対し、参加・体験型事業を実施することなどで、公共交通利用促進運動を進めていく。

以上